

生物多様性国家戦略に関して、全般的なコメントを申し上げます。

遺伝子組み替え生物に関してはおおかたの消費者が危惧しているところでもあります。豆腐や大豆、味噌などのマメ類の輸入がほぼ遺伝子組み替えに染められていることは周知の事実でありましょう。そこで技術的には可能ということと社会的な倫理性をどう調停するのかに関して、今後数年をかけてでも国民的な合意を形成すべきはいうまでもありません。拙速な結論は、我が将来の国家の姿勢を誤らせるとも考えられ、広範な議論の提起と共にパブリックなフォーラム（タウンミーティングでもいいし）などを組織して議論すべきと愚考いたします。

2002年1月23日

山田 修